

シトラスリボンプロジェクト in 厚崎中学校



地域の有志の方と公民館との連携により、9月24日(木)厚崎中学校3年生を対象に「シトラスリボンプロジェクト講習会」を実施しました。

「シトラスリボンプロジェクト」は、新型コロナウイルスによる誹謗中傷をなくし、ただいまとおかえりが言い合える地域でありますようにと愛媛県で始まったプロジェクトです。今では全国的に展開されており、栃木県においても「シトラスリボン IN とちぎ」として、このプロジェクトが広められています。

当日は3密を避けるため、各教室に分かれてリモートによる講習会を実施しました。

一人2つのリボンを目標にしましたが、これがなかなか難しい!しかし、できる生徒が周りの生徒に教えるなど、ここでも学びの循環が垣間見えました。

できたリボンは、1つは自分用に、もう1つは地域の方に配布することになりました。また、これと合わせ、生徒が地域の高齢者あてに描いた絵手紙も一緒に配布することになりました。

市内でもコロナウイルスに感染してしまった方や、それに携わる医療等に従事する方がいらっしゃいます。このような方たちが笑顔で安心して暮らすことができるよう、差別のないやさしい言葉にあふれるまじになることを願っています。



公民館消防訓練

厚崎公民館では、8月27日(木)に火災の発生を想定した消防訓練を実施しました。

今回の消防訓練は、コロナ感染防止のため、公民館利用者の参加協力を要しない訓練内容としましたが、実際の火災を想定し、館内消火栓を使用して職員とシルバーの管理人さんによる放水訓練を行いました。想定外の水の圧力に多少の驚きはありましたが、実践的な訓練を体験することにより、また一つ防災への備えができました。



那須高校 地元友だちプロジェクト



那須高校では、「総合的な探求の時間」の授業の一環として、地域の公民館等の事業の支援を体験しながら、自分が生活する地域の方との人間関係を構築し、将来にわたって地域づくりの担い手として活躍できる力を育成するため、今年度から「地元友だちプロジェクト」を開始しました。

厚崎公民館でも、今年度は5名の生徒(1年生)を受け入れることになり、卒業までの3年間、活動を継続することになります。

今年度はコロナ感染防止のための休館や活動自粛のためにプロジェクトの開始が遅れましたが、ようやく9月29日(火)に第1回目の受入が行われました。

この日は、午前中に公民館の役割や事業について職員との意見交換を行い、午後は公民館運営協力委員の方々と館外の奉仕作業を行いました。

受入初日のため、生徒たちはとても緊張している様子でしたが、今後数回の受入を予定しています。公民館利用の際に生徒たちを見かけたときには、ぜひ声をかけてあげてください。

